

令和3年11月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和3年11月19日(金) 午後1時43分～

2 定例教育委員会

開催場所 つばめホール

3 出席委員の氏名

教 育 長	山 田 公 一	教育長職務代理者	中 野 信 男
委 員	秦 久美子	委 員	斎 藤 純 郎
委 員	小 林 恵 子	委 員	上 田 佳 澄

4 説明のため出席した職員

教 育 次 長	太 田 和 行	主 幹	鈴 木 華 奈 子
学校教育課長補佐	横 田 雄 司	子育て支援課長	白 井 健 次
社会教育課長	石 田 進 一	統括指導主事	五十嵐真紀子

5 本委員会書記

学校教育課 向 井 康 弘 他 2 名

6 傍聴人

1 人

7 会議に付議した事件

会議録の承認

諸報告

(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

専決処分の報告について

報告第10号 共催・後援の教育長専決報告について

その他

(1) 令和3年第4回燕市議会臨時会(教育委員会関係抜粋)

1) 令和3年度燕市一般会計補正予算(第9号)

8 閉 会

会議録

別紙のとおり

開会に先立ち、去る11月9日（火）に発生した吉田中学校の転落事故で亡くなった生徒に対し、黙とうを捧げた。

1 開 会 宣 言 午後1時43分～

2 会議録の承認

全員異議なく、令和3年10月定例教育委員会々議録は承認された。

3 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定

〈各課長、担当課長補佐が報告〉

○委員（斎藤 純郎）

子育て支援課について、行事予定にはないが、園長会議を開く際には防犯・防災対策について徹底を図るように話し合っていたきたい。

11月9日に宮城県内の認定こども園に男が侵入し、職員が取り押さえて警察に逮捕されたという事件があり、これを受けて宮城県内では防犯対策の訓練を実施する園が増えたとのことである。市内の園では、園児の安全を守るため災害時の避難訓練を実施しているが、今一度、防犯・防災対策について検討を行っていただきたい。

○子育て支援課長（白井 健次）

今回の宮城県の事案について、重く受け止めている。

現状、公立園では毎月1回避難訓練を実施している。年間12回のうち1回か2回は、不審者の侵入を想定した訓練を実施している。日々の防犯・防災対策としては、登園・降園時以外は玄関を施錠するよう徹底している。

来月12月2日に開催する園長会にて、各園の訓練における課題や園独自の取り組みを共有し、防犯・防災対策の強化を図る。

○委員（小林 恵子）

学校教育課の事業について、いろいろな事業を実施しているが、今後、備考欄には事業の定員や対象者、実際の参加人数を記載していただきたい。

○統括指導主事（五十嵐 真紀子）

次回から対応する。

(2) 教育長報告

〈山田教育長が以下のとおり報告〉

1 はじめに

- 令和3年も残すところ40日あまりとなった。新年度の予算編成が進む中、12月議会も控えているので、この1年がしっかりと締めくくれるよう、全力であたりたいと考えている。
- 今冬の雪の状況が気になる時期となった。学校や園をはじめ、教育委員会所管施設における雪への備えをしっかりと行っていきたい。

2 11月の行事から

(1) 第10回燕ジュニア検定(11月1日(月))

- 平成24年度から実施している燕ジュニア検定も、回を重ね、今年で10回目となった。その第10回燕ジュニア検定を11月1日に実施した。
今年度は、一人1台配付されているタブレット・パソコンを用い、児童からタブレット・パソコンで回答してもらう方式で実施した。
- 当日の受検者数は、一番難しいAクラスが157人、Bクラスが736人、Cクラスが1,433人で、全体で2,326人の児童が検定にチャレンジしてくれた。
今回から事前の申し込みがなくても受検できることとしたことから、申込者2,014人に対して当日受検者は312人増の2,326人となった。
- タブレット・パソコンを使った初めての試みであったことから、10月から週2回、各クラス5問のミニテストを配信するなどして、児童からタブレット・パソコンでの回答に慣れてもらうこととした。試験の当日は、大きなシステムトラブルもなく、滞りなく検定を終えることができたと聞いている。このたびの検定の課題等を検証のうえ、来年度の実施に臨みたいと考えている。
- なお、Aクラスの満点者11名の表彰式を、12月4日(土)に開催する予定である。

(2) 信濃川・魚野川総合水防演習第1回運営委員会(11月8日(月))

- 信濃川・魚野川総合水防演習の第1回運営委員会が11月8日にオンラインで開催された。この総合水防演習は、毎年、北陸地方整備局管内の河川関係事務所が持ち回りで実施しているもので、水防技術の向上・伝承及び水防団の士気高揚を図るとともに、実践的なシナリオによる災害対処能力の更なる向上を目的としている。
- 令和4年度は、大河津分水通水100周年にあたることから、燕市五千石地先の大河津分水路右岸の河川敷で開催される運びとなったもの。
- 第1回運営委員会では、運営委員会規約(案)の協議を行い、鈴木燕市長が委員長を、北陸地方整備局信濃川河川事務所長及び新潟県三条地域振興局地域整備

部長が副委員長を務めることとなった。私も委員の一人として参画させていただくことになる。

- 演習日時は、令和4年5月29日（日）の午前9時から11時50分までとなる予定で、具体的な演習の内容などは、水防部会、救難救助部会、地域防災部会で協議し、令和4年3月に第2回運営委員会を開催し、最終確認を行うことになっている。

(3) あすチャレ！スクール2021（11月9日（火）～10日（水））

- あすチャレ！スクールは、平成29年度から燕市で毎年開催しており、本年度は、11月9日に燕北中学校で、11月10日に小池中学校で実施した。
本年度の実施で、市内20校、すべての小・中学校を一巡したことになる。
- 11月9日は燕北中学校の1年生47人が、10日は小池中学校の1年生から3年生まで176人が、それぞれ受講してくれた。
- 講師には、シドニー2000パラリンピックの男子車いすバスケットボール日本代表のキャプテンを務められ、東京2020パラリンピックではテレビなどでの解説者やパラリンピック選手村の副村長を務められた根木慎志さんを、今年もお招きすることができた。
- また、11月10日には、教職員研修会も開催した。
- 公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンターのあすチャレ！スクール事務局からは、2022年度のあすチャレ！スクール実施の案内をいただいております。令和4年度も新年度の予算措置を行い、手を挙げたいと考えている。

(4) 吉田高校・分水高校合同学校説明会（11月13日（土））

- 燕市及び弥彦村の中学生とその保護者を対象として、市役所つばめホールを会場に、吉田高校と分水高校の合同学校説明会を開催した。
本年度の合同学校説明会は、新たな試みとして、オンラインにより自宅等から参加いただけるようにした。
- 説明会当日は、中学生19人、保護者22人から会場においでいただいた。また、オンラインでの参加者は17世帯だった。
- 会場においでいただいた方のアンケート結果では、『高校の説明は、いかがでしたか？』の設問に、「とてもよい」が73.2%、「よい」が22.0%だった。
- 進路選択の参考にしていただけることを期待したい。

(5) 令和3年第4回燕市議会臨時会（11月17日（水））

- 令和3年第4回燕市議会臨時会が、11月17日に開催された。
- 教育委員会に関係する議案は、次の1件であった。
・令和3年度燕市一般会計補正予算（第9号）
- 令和3年度燕市一般会計補正予算（第9号）は、当日の本会議において、賛成多数で原案どおり可決された。

3 結びに

○ 11月9日（火）に発生した吉田中学校の生徒の死亡事故につきましては、すでに教育委員の皆様にご報告させていただいたとおりである。

在校生の心のケアに努めるとともに、慎重に調査を進めるなど、ご遺族の心情に十分配慮しながら対応していきたいと考えている。

○委員（斎藤 純郎）

「結びに」でお話しのあった死亡事故について、改めて亡くなられた生徒さんに慎んでご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆様にご心からお悔やみを申し上げる。

学校では、これまでいじめを見逃さないように軽微なものと思われる事案でも上司や教育委員会へ報告するように取り組んできたが、この度の件について、現時点ではいじめの兆候をとらえることができなかったとのことで、残念でならない。

今後は、遺族の心情に十分配慮しながら「いじめ防止対策等専門委員会」において詳細な調査を進め、再発防止策を講じていただきたい。

○教育長（山田 公一）

ご遺族の皆様のご心情を汲みながら、真摯に対応させていただく。

○委員（上田 佳澄）

「燕ジュニア検定」について、地域コーディネーターからの要請を受け、ボランティアとして参加した。今年初の試みとして、紙ではなくタブレットを用いた検定ということで、年配のボランティアの方にとってはタブレットの使い方がわかりにくいようであった。事前に、ボランティアを対象に使い方を教える講習会を開くなど、ボランティアがタブレットについて触れる機会があるとよい。

○教育長（山田 公一）

来年度の実施に向けて検討する。

○委員（小林 恵子）

「燕ジュニア検定」について、今まではボランティアの方に採点もお願いしていたが、今回はタブレットのためそれが無くなったと思う。タブレットではどのように採点するのか。

○教育長（山田 公一）

タブレットの画面上の採点ボタンを押すと、自動で採点される。

○委員（秦 久美子）

私もボランティアとして今回の燕ジュニア検定に参加した。タブレットの使い方について、実物を見せてもらっておらず、紙で使い方を示されたただけだったので、

戸惑うことがあった。ボランティアとして要請された人数も少なく、各教室に1名
ずつしか配置されなかった。

子どもたちは、事前に練習はしていたと思うが、スクロールしているときに選ん
でいない選択肢を意図せず押してしまったりして思うように回答できず、「思ったよ
りも点数が低かった」と言う子もいた。事前に子どもたちに対し、タブレットの使
い方についてのより詳細な注意喚起が必要だったと思う。

○教育長（山田 公一）

タブレットを用いての検定は今回が初の試みであったため、いただいた意見につ
いては、来年度の実施に向けた課題として検討する。

4 専決処分の報告について

報告第 10 号 共催・後援の教育長専決報告について

2 件の後援申請について

〈No. 1 について向井学校教育課長補佐が説明〉

〈No. 2 について石田社会教育課長が説明〉

5 その他

(1) 令和3年第4回燕市議会臨時会（教育委員会関係抜粋）

1) 令和3年度燕市一般会計補正予算（第9号）

〈石田社会教育課長が説明〉

〈横田学校教育課長補佐が説明〉

○教育長（山田 公一）

令和3年度燕市一般会計補正予算（第9号）に関して、「燕市いじめ防止対策等
専門委員会」の開催について、主幹から説明させていただく。

○主幹（鈴木 華奈子）

11月25日（木）午後3時から、燕市中央公民館で「第1回燕市いじめ防止対策等
専門委員会」を開催する。

6 閉 会 午後2時22分

燕市教育委員会会議規則（平成18年燕市教育委員会規則第2号）第17条第2項の規定により会議録に署名する。

令和3年12月23日

教 育 長 山田 公一

教 育 委 員 中野 信男

教 育 委 員 秦 久美子

教 育 委 員 斎藤 純郎

教 育 委 員 小林 恵子

教 育 委 員 上田 佳澄

会議録作成職員 志賀 覚子